

ちば県議会だより

代表質問から

財政

問 平成二十四年度の財政運営について、どのように考えているのか。

答 海外景気の下振れやデフレの進行など、本県経済を取り巻く環境は、厳しいものとなっている。今後も、執行段階における経費の節減を図るとともに、経済活性化や観光振興など、千葉県を元気にする施策を積極的に進めることにより、県税収入を確保し、計画的な財政運営に努めていく。

震災対策

問 津波浸水予測図及び液化化しやすさマップを公表したが、この成果を、今後、どのように活用していくのか。

答 津波浸水予測図を活用し、県民の津波避難意識の高揚や市町村における津波ハザードマップ、津波避難計画の作成を支援するなど、津波発生時に安全に避難できるように努めていく。

また、この液化化しやすさマップをもとに、震度五強を超えると液化化しやすい地域などの情報を県民に提供し、液化化対策を促進していきたい。

さらに、既存住宅についても、国や大学などの研究機関が実施している新たな液化化対策工法の研究成果や施工例など、具体的な液化化対策について、分かりやすい広報に努めていく。

問 障害者などの災害時要援護者や女性に配慮した対策の取組状況はどうか。

答 このたび公表した地域防災計画修正案においては、災害時要援護者や女性の視点を盛り込んでおり、今後、市町村と連携し、災害時要援護者に配慮した備蓄や避難所運営における女性の参画の促進など、さまざまな対策を進めていきたい。

放射性物質

問 市町村のゴミ処理施設から発生する放射性物質を含んだ焼却灰等の一時保管について、今後、どのように進めていくのか。

答 県では、一時保管場所として手賀沼流域下水道終末処理場を使用するため、今後、国や関係市との調整を進めることとなる。一時保管施設の完成までに概ね四か月を見込んでいく。

また、国が行う指定廃棄物の最終処分場については、国が責任を持つて確保することを環境大臣に確認した。

一時保管の解消には、指定廃棄物の最終処分場が不可欠であることから、早期に設置するよう、県として国に全面的に協力していく。

問 湖沼・海域など公共用水域における放射性物質のモニタリング調査について、どのように取り組んでいくのか。

答 底質の放射性物質濃度が比較的高い地点を中心として、手賀沼

と印旛沼及びその流入河川四十二地点で、五月から県独自の調査を実施している。

さらに、東京湾については、国が湾北部を中心に調査を実施しているが、東京湾全体の状況を把握するため、県独自で湾南部にも調査地点を追加し、湾全体で二十五地点において、国と連携しながら調査を開始した。

今後とも、放射性物質のモニタリング調査を実施し、公共用水域の水質と底質の実態を的確に把握するとともに、県民の安心につながるよう、速やかに調査結果を公表していく。

問 県立学校の除染の実施概要と着手予定はどうか。

答 県立学校の除染は「千葉県放射性物質除染実施プラン」に基づき、これまでの検証結果を踏まえ、地表面の土をほぎ取ったり、芝を深く刈り取るなどの方法で行う。特別支援学校は七月中旬、高等学校は七月下旬に着手することとしている。

ホルムアルデヒド

問 利根川水系浄水場におけるホルムアルデヒドの検出について、今後、同様の事態に備え、県では、どのように対応していくのか。

答 今回、関係事業者などにおける情報伝達に課題が見られたことから、今後、水道事業者間で、より迅速に情報共有できる体制を整備するとともに、住民へのより効果的な情報提供のあり方についても、市町村等と十分協議し、検討していく。

また、県では、今回ホルムアルデヒドの除去に効果が見られた高度浄水施設を順次導入すること

しており、北千葉広域水道企業団においても、平成二十六年度中の稼働に向け、現在、施設の建設を進めている。

さらに、県として、浄水過程においてホルムアルデヒドを生成させる物質に対し、速やかな法的規制を講ずるよう、国に要望した。

アクアライン

問 ちばアクアラインマラソンを契機とした千葉の魅力発信を、どのように進めていくのか。

答 現在、さまざまなメディアを活用して、大会の周知はもとより、本県の地域情報や観光情報などの発信に努めている。

また、大会の様子は、後日テレビ放送される予定であり、本県紹介のための催し物や特産品の提供などをイベント会場やコースに展開させ、千葉の魅力を一堂に詰め込んで、まるごと発信されるよう努めていく。

さらに、大会の開催にあわせた台湾など海外からのモニターツアーの実施や県内在住の外国人などから任命したチーバくん大使の活用などにより、海外へも千葉の魅力を積極的に発信していく。



東京湾アクアライン

援センターにおいて、千葉県内主要病院への研修医確保に向け、どのような事業が進められているのか。

答 同センターでは、内視鏡検査や手術など高度な医療技術をシミュレーション機器により、安全にトレーニングできる研修などを開催し、研修医等の技術向上を支援している。

また、県内外の医学生や研修医が多数集まる就職説明会での県内病院の紹介、病院見学バスツアーの開催、出産・育児等で休業している女性医師への就業相談などの事業を行っている。

さらに、本年度から研修医の登録制度を開始し、専門的なキャリアの習得が可能な後期研修プログラムの研修病院の特徴など、研修医の関心が高い情報を提供し、研修医の県内定着を図っていく。

交通安全

問 通学路の交通安全対策について、県としてどのように取り組んでいくのか。

答 先般、館山市で起きた児童の登校時の交通事故を受け、市町村教育委員会に、改めて、警察、道路管理者と連携、協働し、通学路の安全点検を指導したところであり、市町村では、関係機関と合同で通学路を調査し、道路状況に応じた対応を検討している。

県としても、地域の協力を得た登下校時の交通安全指導等、児童生徒の交通安全対策により一層努めていく。

医師確保

医師キャリアアップ・就職支



チーバくん

可決・承認・同意された議案

- ◆条例の制定(七件)
- ▽千葉県射撃場設置管理条例
- ▽県が管理する県道の構造の技術的基準を定める条例
- ▽県が管理する県道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法を定める条例
- ▽県が管理する県道に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例
- ▽千葉県立都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例
- ▽流域下水道の構造の技術上の基準及び終末処理場の維持管理に関する条例
- ▽高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例
- ◆条例の一部改正(十一件)
- ▽職員の特種勤務手当に関する条例
- ▽千葉県県税条例
- ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
- ▽議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例
- ▽千葉県生涯大学校設置管理条例
- 例
- ▽千葉県介護職員処遇改善等臨時特別基金条例
- ▽食品衛生法施行条例
- ▽千葉県環境保全条例
- ▽千葉県臨港地区構造物規制条例
- 例
- ▽千葉県立都市公園条例
- ▽千葉県風致地区条例
- ◆その他(八件)
- ▽契約の締結
- ▽契約の変更
- ▽訴えの提訴
- ▽専決処分承認
- ▽教育委員会委員の任命同意
- ▽人事委員会委員の選任同意
- ▽監査委員の選任同意(二件)

可決された意見書・決議

- ▽私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書
- ▽北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書
- ▽登記の事務・権限等の地方への移譲に関する意見書
- ▽いわゆる脱法ドラッグとりわけ脱法ハーブに対する指導取り締まり等の強化を求める意見書
- ▽警察官の増員に関する意見書
- ▽節電啓発のための電力使用量可視化を求める意見書
- ▽浄水過程において有害物質を発生させる化学物質の河川等への排出規制を求める意見書
- ▽東京電力福島第一原子力発電所事故による千葉県の観光事業者の風評被害が迅速かつ適切に賠償されるよう措置することを求める意見書
- ▽短期的地震予知の研究を推進することを求める意見書
- ▽尖閣諸島の実効支配を推進するための法整備を求める意見書
- ▽国における平成二十五年度教育予算拡充に関する意見書
- ▽義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書
- ▽「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書
- ▽再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書

採択された請願

- ▽食肉輸出認定の施設整備について(第一項、第二項)
- ▽法務局が担う登記の事務及び権限を地方に移管することに反対する意見書の提出について
- ▽重度心身障害者(児)医療費助成の窓口無料化を求めることについて
- ▽千葉県北総・東総地域の酪農の振興に関することについて(第一項、第六項)